グループ SNE、初の公演ライセンス型マーダーミステリー作品『雪郷連環殺人事件（ゆきぐにれんぞくさつじんじけん）』を発表。12 月 26 日に大阪での初回公演も決定！

※画像はオリジナル版のビジュアルです。

グループ SNE は、「Asian Murder Mystery」シリーズの第 4 弾として、『雪郷連環殺人事件（ゆきぐにれんぞくさつじんじけん）』を発表します。
当作品は、グループ SNE 初の公演ライセンス型中国マーダーミステリー作品。プレイヤーのみなさまは、ライセンス契約いただいた店舗様、GM 様を通して一度きりの極上体験をお楽しみいただけます。

グループＳＮＥの海外マーダーミステリー翻訳レーベル「Asian Murder Mystery」は、中国を中心としたアジアのマーダーミステリー作品を紹介するために誕生しました。公演型マーダーミステリー作品を日本語版パッケージとしてリリースし、ご自宅でもアジアのミステリーをお楽しみいただけるのが特徴です。現在、『HORROR

STORY 01:30（ホラーストーリー イチジハン）』（中国作品）、『你好（ニイハオ）―記憶の欠片―』（中国作品）の 2 タイトルが発売済み。2025 年末には『夜煌（やこう）―消えたイヤリングを探せ―』（韓国作品）をリリース予定です。

しかし、この度リリースする『雪郷連環殺人事件』（中国作品）は、プレイヤーの没入感をより高めるため、グループ SNE 初の公演ライセンス専門の作品としてご案内させていただきます。

店舗様、個人 GM 様の進行を通して、ぜひ一度きりの極上体験をお楽しみください。

■『雪郷連環殺人事件』あらすじ

物語は、「李白」と名乗るゲームマスターによるプライベートのテスト公演に、プレイヤーたちが招かれたというところから幕を開ける。シナリオは、実際の事件をもとに作成したとのことで、作品のモデルとなった村にある家屋を会場に公演はおこなわれた。

舞台は 2006 年。中国奥地のうす寂れた集落「北道河子村（ほくどうかしそん）」にも大晦日がやってきた。7 人の若者たちは、年越しの食事を楽しもうと料理店を訪れる。なじみのおじさんである王大達が営む料理店は、なんと今日が最後の営業日だった。そこで 7 人は、王大達との思い出作りにと、廃れて久しい村の祭祀を模した遊びを一緒に興じ始める。

その時！　店内が突如停電する。そして、「村で遺体が見つかった」という村内放送が流れてきた。大晦日とは思えない不穏な空気の中、電灯を復旧させようと配電盤に向かった王大達が待てども戻ってこない。そういえば、王大達といつも一緒にいる奥さんの姿も見ていない。

はたして「李白」と名乗るゲームマスターは何を伝えようとしているのか。様々な物語が複雑に絡み合い、そして真相へ収束していく 5 時間のスペクタルミステリーをお楽しみください。

■早くも初回公演が決定！

開催日　：2025 年 12 月 26 日(金)14 時
公演時間：5 時間（予定）
公演料　：6,000 円（1 名）
人数　　：6～7 名（6 名が最適）
場所　　：フーダニット（大阪市北区堂山町 17-8 北シャトービル 6 階）
予約　　：マダミス.jp にて 11 月 15 日午前 0 時から予約開始
（作品ページ URL：https://mdms.jp/shops/whodoneit/catalogs/2874）

■店舗様、個人 GM 様へ

当作品は公演ライセンス型マーダーミステリー作品となります。
詳細につきましては、公演可能時期、契約形式、ライセンス料などをまとめた資料を、後日お送りさせていただきます。

■作品情報

作品名　　：雪郷連環殺人事件（ゆきぐにれんぞく さつじんじけん）
　　（原題『雪乡连环杀人事件』）
作者　　：李白、秋雨声烦
制作　　：李白工作室
翻訳　　：Erica Chen／グループ SNE
日本語版製作：株式会社グループエス・エヌー・イー

■本件のお問い合わせ先
株式会社グループエス・エヌ・イー
お問い合わせ先：webmaster@groupsne.co.jp